

7 点検とメンテナンスについて



感電の恐れあり！

ユニットには電圧がかかっています。
ユニットを開ける前には必ず電源を切り、
誤って電源が入らないように、特にご注意ください。

7.1 一般情報

冷気循環経路はメンテナンスフリーの密閉システムを採用しています。クーリングユニットには製造時に充分量の冷媒が充填されており、密閉状態をチェックした上で、更に機能性試験が行われています。

内蔵されたメンテナンスフリーのファンにはボールベアリングを採用しており、湿気や埃から保護します。ファンは温度モニターがはめ込まれています。使用寿命は最低 30,000 時間です。そのため、クーリングユニットは長期間メンテナンスが不要になります。外部の空気循環経路に設置されている機器のみ、汚れ具合を見ながら掃除機や圧縮空気です適宜お手入れをしてください。油汚れがこびりついた場合などは、水系洗浄剤など不燃性の洗浄剤で取り除いてください。

メンテナンスの間隔：2000 時間となっています。使用環境における空気の汚れ具合によっては、大気中の浮遊物質の量に応じてメンテナンスの間隔が短縮されることがあります。



注意！

やけどの恐れあり！

クリーニングの際には、絶対に可燃性の製品を使用しないでください。

メンテナンスの手順：

- 汚れ具合を確認します。
- フィルターが汚れていたら、必要に応じて交換します。
- クーラーの羽が汚れていたら、必要に応じてクリーニングします。
- テストモード運転をして、冷却機能に異常がないかチェックします。
- コンプレッサーやファンに雑音がないか確認します。

7.1.1 圧縮空気でのクリーニング SK 3304.xxx/SK 3305.xxx



図 39： 接続プラグを抜く



図 40： 上のプラスチックルーバーを取外す

7 点検とメンテナンスについて



感電の恐れあり！

ユニットには電圧がかかっています。
ユニットを開ける前には必ず電源を切り、
誤って電源が入らないように、
特にご注意ください。

7.1 一般情報

冷気循環経路はメンテナンスフリーの密閉システムを採用しています。クーリングユニットには製造時に充分量の冷媒が充填されており、密閉状態をチェックした上で、更に機能性試験が行われています。

内蔵されたメンテナンスフリーのファンにはボールベアリングを採用しており、湿気や埃から保護します。ファンは温度モニターがはめ込まれています。使用寿命は最低 30,000 時間です。そのため、クーリングユニットは長期間メンテナンスが不要になります。外部の空気循環経路に設置されている機器のみ、汚れ具合を見ながら掃除機や圧縮空気で適宜お手入れをしてください。油汚れがこびりついた場合などは、水系洗浄剤など不燃性の洗浄剤で取り除いてください。

メンテナンスの間隔：2000時間となっています。使用環境における空気の汚れ具合によっては、大気中の浮遊物質の量に応じてメンテナンスの間隔が短縮されることがあります。



注意！

やけどの恐れあり！

クリーニングの際には、
絶対に可燃性の製品を使用しないで
ください。

メンテナンスの手順：

- － 汚れ具合を確認します。
- － フィルターが汚れていたら、必要に応じて交換します。
- － クーラーの羽が汚れていたら、必要に応じてクリーニングします。
- － テストモード運転をして、冷却機能に異常がないかチェックします。
- － コンプレッサーやファンに雑音がないか確認します。

7.1.1 圧縮空気でのクリーニング

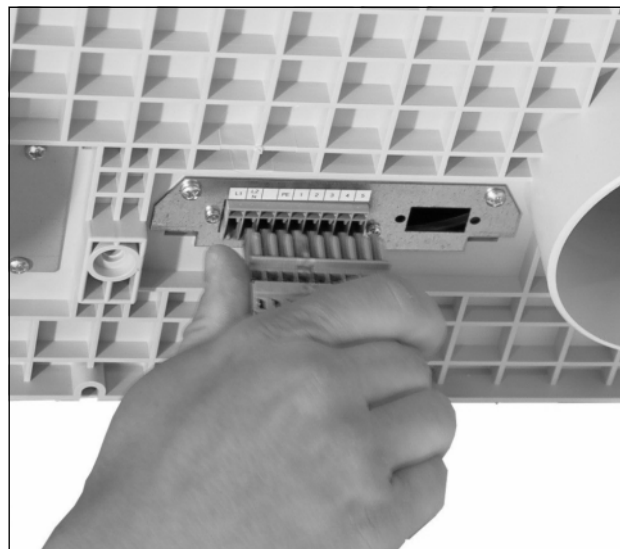


図 27: 接続プラグを抜く



図 28: プラスチックルーバーを外す



図 29: プラスチックルーバーを取外す

7 点検とメンテナンスについて

JA



図 30: モニターのプラグを抜く



図 33: カバーを取外す



図 31: アースケーブルを外す



図 34: カバーを取外したクーリングユニット（前面）



図 32: カバーに付いているネジを外す
(4ヶ所のネジを外す)



図 35: カバーを取外したクーリングユニット（背面）

8 保管および処分



注意！ 損傷の恐れあり！
クーリングユニットを
気温が 70°C を超える場所で保管する
ことは絶対に避けてください。

クーリングユニットは、必ずまっすぐに立てて保管してください。

密閉系冷気循環経路には冷媒とオイルが含まれています。環境保護の観点から、処分は必ず専門の作業員にお任せください。処分の際は、リタール社工場で処理ができます。

お気軽にお問合せください。

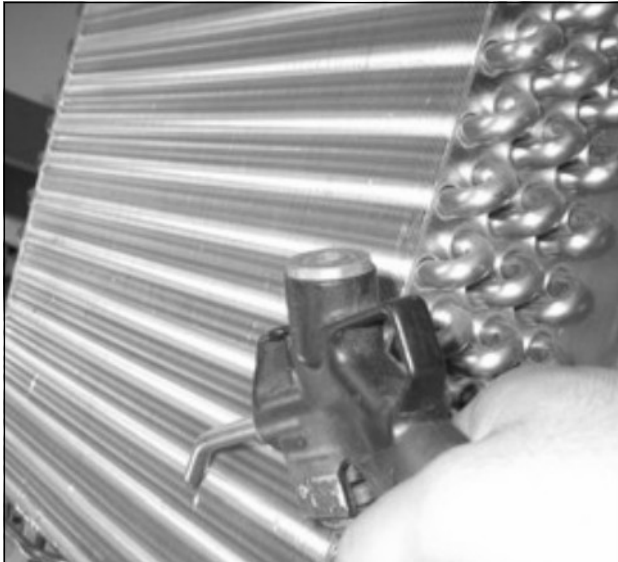


図 36: ヒートエクスチェンジャー部分とコンプレッサールームの汚れを圧縮空気で吹き払う

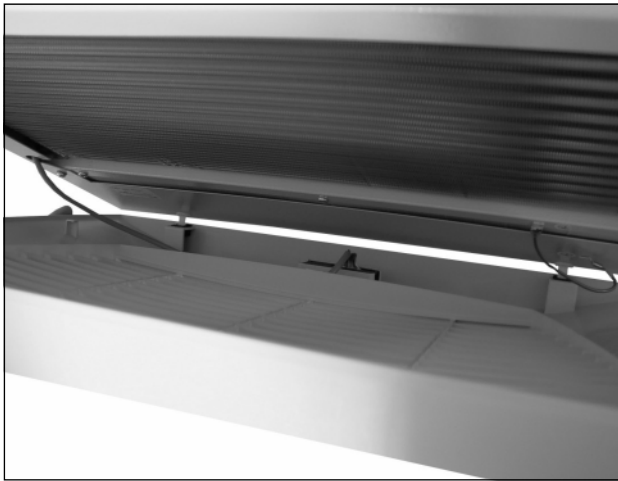


図 37: プラスチックルーバーを取付ける

7 点検とメンテナンスについて

JA



図 41： 下のプラスチックカバーを取外す



図 43： モニターのプラグを抜く (1)



図 42： ベルト部を取外す



図 44： モニターのプラグを抜く (2)



図 45： ルーバーを外したーリングユニットの様子

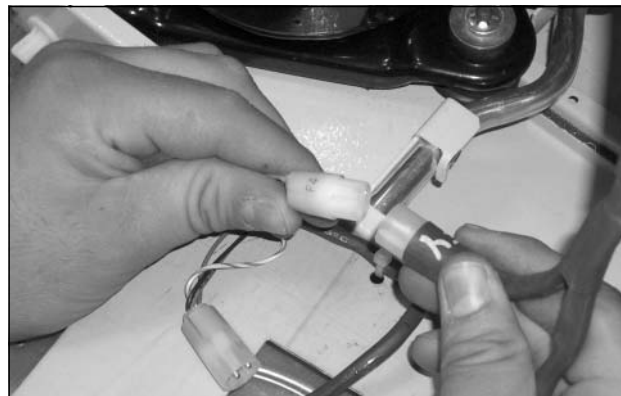


図 48： ファンのプラグ接続を外す



図 49： カバーを取外す（4ヶ所のネジを外す）



図 46： 外部循環経路用のファンを取外す
（4ヶ所のネジを外す）

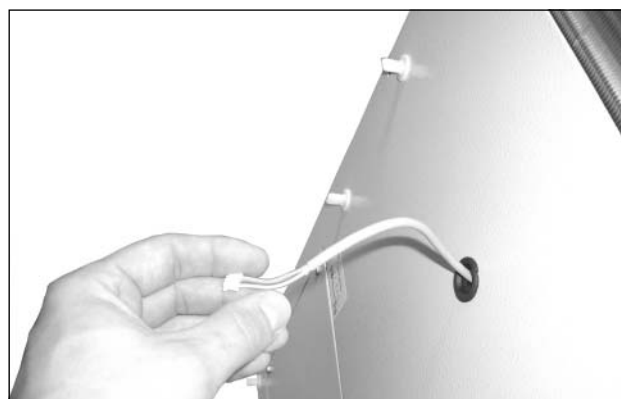


図 50： モニターケーブルを押し戻す

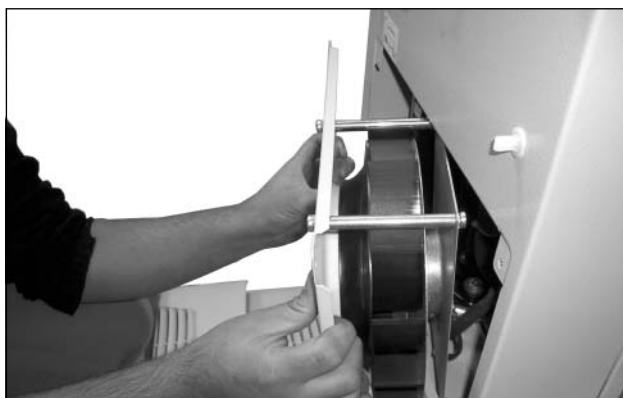


図 47： ファンの取外し



図 51： モニターケーブルをケーブルの引込み口に押し込む

7 点検とメンテナンスについて

JA



図 52： カバーを取外す (1)



図 54： カバーとセクションの間にあるアースケーブルを外す (1)



図 55： カバーとセクションの間にあるアースケーブルを外す (2)



図 53： カバーを取外す (2)



図 56： ヒートエクスチェンジャー部分とコンプレッサー
ルームの汚れを圧縮空気で吹き払う (1)



図 57： ヒートエクスチェンジャー部分とコンプレッサー
ルームの汚れを圧縮空気で吹き払う (2)



図 59： 上のプラスチックルーバーを取外す (1)

7.1.2 圧縮空気でのクリーニング SK 3328.xxx、 SK 3329.xxx、SK 3332.xxx



図 58： 接続プラグを抜く



図 60： 上のプラスチックルーバーを取外す (2)

7 点検とメンテナンスについて

JA



図 61： 上のプラスチックルーバーを外す (3)



図 63： 下のプラスチックルーバーを外す (2)



図 62： 下のプラスチックルーバーを外す (1)



図 64： ベルト部を外す

7 点検とメンテナンスについて

JA



図 65： モニターケーブルを引き抜く



図 69： 外部循環経路用のファンを取外す



図 66： モニターケーブルを押し戻し、
ケーブルの引込み口に押し込む (1)



図 70： ファンのプラグ接続を外す (1)

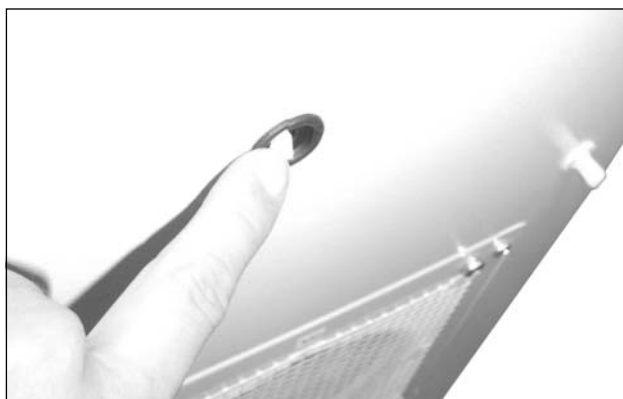


図 67： モニターケーブルを押し戻し、
ケーブルの引込み口に押し込む (2)

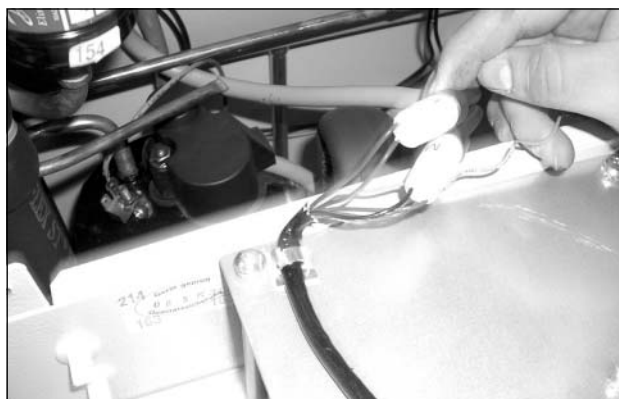


図 71： ファンのプラグ接続を外す (2)



図 68： 外部循環経路用ファンに付いている4個のネジを外す



図 72： ファンのプラグ接続を外す (3)

7 点検とメンテナンスについて

JA



図 73： ファンのアースケーブルを外す (1)



図 74： ファンのアースケーブルを外す (2)



図 76： カバーを取外す



図 75： カバーに付いている 4 個のネジを外す



図 77： アースケーブルを外す (1)

7 点検とメンテナンスについて

JA



図 78：アースケーブルを外す (2)



図 80：ヒートエクスチェンジャー部分とコンプレッサールームの汚れを圧縮空気で吹き払う (2)

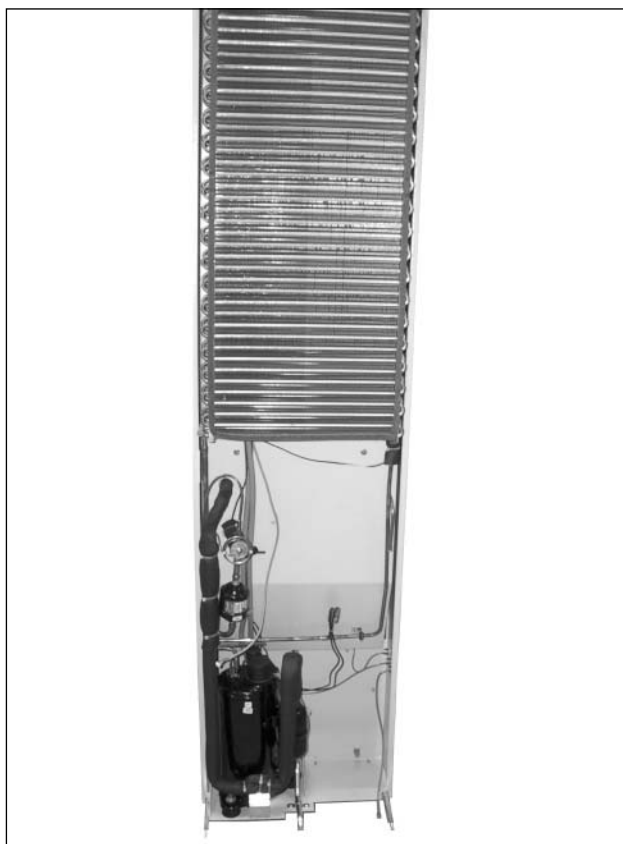


図 79：ヒートエクスチェンジャー部分とコンプレッサールームの汚れを圧縮空気で吹き払う (1)



図 81：ヒートエクスチェンジャー部分とコンプレッサールームの汚れを圧縮空気で吹き払う (3)

8 保管および処分

JA

8 保管および処分



注意！ 損傷の恐れあり！

クーリングユニットを気温が 70°C を超える場所で保管することは絶対に避けてください。

クーリングユニットは、必ずまっすぐに立てて保管してください。

密閉系冷気循環経路には冷媒とオイルが含まれています。環境保護の観点から、処分は必ず専門の作業員にお任せください。製品の廃棄処理は弊社工場で行います。

お気軽にお問合せください。